

---

# 平成21年1月期中間決算 参 考 資 料

---

平成20年9月3日

(株)サガミチェーン

東証・名証1部上場 コード:9900

設立:1970年3月 資本金:63億300万円

**株式会社サガミチェーン**

# 目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 平成21年1月期中間決算の概況	—————	P2
3. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P3
4. 店舗展開の状況	—————	P3
5. 平成21年1月期中間決算の背景	—————	P4
6. 平成21年1月期の業績予想	—————	P5
7. 追補	—————	P5

# 1. 連結対象企業の事業内容

○連結子会社の対象範囲は連結子会社4社と持分法適用関連会社1社となっております。

[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金（千円）	事業の内容	議決権の所有 割合（％）
株式会社ディー・ディー・ エー	名古屋市守山区	200,000	飲食店の経営 FC店店舗への材料 提供及び経営指導	100.0
株式会社サガミサービス	名古屋市守山区	10,000	損害保険及び生命 保険の代理業務	100.0 (75.0)
株式会社エー・エス・サガ ミ	名古屋市守山区	70,000	飲食店の経営	71.4
上海盛賀美餐飲有限公司	中国上海市	260,000	飲食店の経営	93.4 (16.4)

[持分法適用関連会社]

株式会社浜木綿	名古屋市昭和区	284,160	飲食店の経営	23.1
---------	---------	---------	--------	------

※議決権所有割合の（ ）書きは間接所有部分で内書であります。

# 2. 平成21年1月期中間決算の概況

○連結業績の概況

○個別業績の概況

単位 (百万円/円)	平成19年 7月期	平成20年 7月期	前年比 (%)	単位 (百万円/円)	平成19年 7月期	平成20年 7月期	前年比 (%)
売上高	12,715	12,483	△1.8	売上高	11,324	11,041	△2.5
営業利益	13	△174	—	営業利益	△80	△233	—
経常利益	53	△171	—	経常利益	△53	△205	—
当期純利益	△376	△477	—	当期純利益	△395	△463	—
一株あたり 当期純利益	△15.45	△19.56	—	一株あたり 当期純利益	△16.22	△18.98	—

○中間配当について

中間配当につきましては見送ることといたしました。

○株主優遇策について

平成20年7月20日現在に当社株式を一千株以上保有の株主様に対し、1万5千円相当（通期換算 3万円）の株主優待食事券を進呈いたします。

### 3. 財政・キャッシュフローの概況

#### ○連結財政状態

単位 (百万円/%/円)	平成19年 7月期	平成20年 7月期
総資産	20,718	20,272
純資産	15,190	14,361
自己資本比率	73.3	70.8
一株あたり純資産	622.04	588.53

#### ○連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	平成19年 7月期	平成20年 7月期
営業活動によるキャッシュフロー	△45	△454
投資活動によるキャッシュフロー	△307	△248
財務活動によるキャッシュフロー	△289	371
現金及び現金同等物 期末残高	3,940	3,723

#### ○設備投資について

中間期末における連結設備投資は 4億79百万円 (H19.7実績 2億89百万円) となりました。

#### ○減価償却費について

中間期末における減価償却費は 2億97百万円 (H19.7実績 2億73百万円) となりました。

### 4. 店舗展開の状況

	平成20年1月期	平成20年7月期			平成21年1月期 計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
サガミ	172	1	1	172	1	6	167
どんどん庵	85	2	1	86	5	3	87
じゅうはち家	2	—	1	1	—	2	—
あいそ家	4	1	1	4	1	1	4
さがみ庭	3	—	—	3	—	1	2
あんかけスパDONDONあん	4	—	—	4	—	—	4
上海盛賀美	4	—	1	3	1	1	4
その他	1	1	—	2	2	—	3
合計	275	5	5	275	10	14	271

#### ○平成20年7月中間期の店舗展開の状況について

業態変更等のリモデルを含む新規出店は「サガミ 1店」「どんどん庵 2店」「あいそ家 1店」「オーバージョイ 1店」の 5店 (うち純新店数 4店) となりました。一方、閉店につきましては「サガミ 1店」「どんどん庵 1店」「じゅうはち家 1店」「あいそ家 1店」「上海盛賀美 1店」の合計 5店 (うち純閉店数 3店)。これにより期末の店舗数は 275店となりました。

#### ○平成21年1月期の店舗展開の計画について

業態変更等のリモデルを含む新規出店は「サガミ 1店」「どんどん庵 5店」「あいそ家 1店」「上海盛賀美 1店」「その他業態 2店」の合計 10店 (うち純新店数 8店) を計画しております。一方、閉店につきましては「サガミ 6店」「どんどん庵 3店」「じゅうはち家 2店」「あいそ家 1店」「さがみ庭 1店」「上海盛賀美 1店」の合計 14店 (うち純閉店数 12店) を計画しております。

これにより平成21年1月期末の店舗数は 271店を計画しております。

## 5. 平成21年1月期中間決算の背景

- (1) 平成21年1月期中間決算は減収減益となりました。売上高は二期ぶりの減収。営業利益、経常利益につきましては三期ぶりの減益となりました。なお、当期純利益につきましては二期連続の減益であります。
- (2) 中間期の環境につきましては、ガソリン価格の高騰による車離れや、生活必需品の相次ぐ値上げによる消費マインドの低下により個人消費は低迷。特に暫定税率復活後の5月以降は生活防衛意識の高まりを背景に、食の内部化や外食控えは著しく予想を超えた影響を受ける結果となりました。
- (3) 売上高につきましては、前年同期比 2億32百万円減収の 124億83百万円となりました。これは、当社主力業態である「サガミ」の既存店売上高前年比が第一四半期は 0.5%増と概ね計画通りの推移に対し、第二四半期は食の内部化や外食控えの影響を受け、4.1%減と低調に推移。これにより、中間期の既存店売上高が前年比 1.9%減となったためであります。  
なお、セルフサービスの「どんどん庵」の既存店売上高は前年比 3.4%減となりました。
- (4) 売上原価率は、小麦価格の高騰をはじめ原材料価格が値上がり傾向にありましたが、3月に実施した価格改定が奏功し売上原価率は前年同期比 0.2ポイント減の 29.7%となりました。
- (5) 販管費につきましては、第二四半期以降の売上減に対応すべく、配送形態の変更や人件費の見直し等を行い、一部の経費を前年同期比 77百万円削減。しかしながら、ガス料金の値上がりや、設備投資に伴う経費等が前年同期比 1億33百万円増加いたしました。この結果、販管費は前年同期比 56百万円増加の 89億46百万円となりました。
- (6) 先述の通り、売上高の減少に加え販管費の増加により、営業損失は前年同期比 1億88百万円減益の 1億74百万円、経常損失は前年同期比 2億24百万円減益の 1億71百万円となりました。
- (7) 特別利益につきましては「貸倒引当金戻入益」等により 28百万円。特別損失は「減損損失」「固定資産除却損」等により 1億96百万円、それぞれ計上いたしました。これにより当期純損失は前年同期比 1億円減益の 4億77百万円となりました。
- (8) 主力業態「サガミ」の既存店の状況につきましては、2月期の寒波に加え、食の内部化や外食控え等により5月期・6月期の客数が約 10%減少し、中間期の客数は前年比 4.1%減となりました。一方、客単価におきましては3月の価格改定に加え、料理フェアの販売が好調に推移したことにより 2.6%増を確保。これにより、中間期の既存店売上高前年比は 1.9%減となりました。

## 6. 平成21年1月期の業績予想

### ○連結業績予想

単位 (百万円/円)	H20.1	H21.1 (予)	前年比 (%)
売上高	26,460	25,830	△2.4
営業利益	396	295	△25.5
経常利益	469	305	△35.0
当期純利益	△157	△100	—
一株あたり 当期純利益	△6.45	△4.10	—

### ○個別業績予想

単位 (百万円/円)	H20.1	H21.1 (予)	前年比 (%)
売上高	23,701	23,050	△2.8
営業利益	282	225	△20.2
経常利益	331	275	△17.0
当期純利益	△155	△60	—
一株あたり 当期純利益	△6.38	△2.46	—

### ○連結業績予想について

- (1) 平成20年8月26日に「特別損失発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」を開示し、通期業績予想を修正いたしました。
- (2) 通期の既存店売上高は前年比「サガミ 2.5%減」「どんどん庵 ±0%」をそれぞれ見込んでおります。売上原価率は前年比較 0.3ポイント減の 29.8%。販管費は前年比較 2億73百万円減の 178億32百万円を計画しております。
- (3) 特別利益につきましては 27百万円、特別損失につきましては 2億31百万円をそれぞれ計画しております。
- (4) 期末配当につきましては、平成20年8月26日に開示いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、期末配当を 5円とさせていただくことを予定しております。

## 7. 追補

### ○その他開示書類について

本日付で「(訂正) 過年度決算短信等の一部訂正のお知らせ」「有価証券報告書及び半期報告書の訂正報告書の提出について」を開示いたしました。これは、連結・個別財務諸表等に係る注記事項(リース取引関係)を訂正したものであり、該当する事業年度の業績への影響はありません。

### ○中期計画の見直しについて

当社は平成19年8月に平成23年1月期を最終年度とする中期計画を発表いたしました。しかしながら、ガソリン価格の高騰による車離れや、生活必需品の相次ぐ値上げによる消費マインドの低下により個人消費は低迷。さらに、生活防衛意識の高まりを背景にした、食の内部化、外食離れは予想を超えた影響をもたらし、かつ長期化の様相を呈しております。

このように、中期計画策定時に想定した以上の環境変化が起きており、この変化に即した対策・戦略を立てる必要があると判断いたしました。従って、現在発表の中期計画を見直すこととし、修正計画につきましては、環境の変化、直近の業績推移等を精査したうえで策定・発表する予定であります。

## ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

### (1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕する」「企業を通じてお客様に奉仕する」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

### (2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示電子情報システム(TDnet: Timely Disclosure Network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

### (3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

### (4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメント、IR活動を控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

### (5) ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守します。